

様式3 【物・文化財・風景など実体のあるもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県HP公開 (可) 否)

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 信 仰	(ふりがな) しんこう	
地域独特の呼び方	カンナガラ	かんながら	
タイトル	彼岸の造花		
伝承地域	相双地区、県中地区		
由来 (年代)	(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられてきたか) 不 明		
内容	(内容と共に、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども) 春の彼岸にお墓に供える花として、木を薄く削り赤、黄、緑等の色で着色して仕上げた造花がある。地方によっては、「カナガラ」「カンナガラ」という呼び名がある。春の彼岸時には、生花が少なく高価であるため、生花に代わるものとして広まったとも言われる。 福島県においては、相双地区や県中の郡山市を中心とした地域等で利用されている。		
大きさ・材質	(大きさ：緑の文化財、巨木、建造物などスケールが情報として有用なもの。) —	(材質) —	
見頃	(緑の文化財、巨木など特定の時期に見頃が訪れるもの。) —		
交通アクセス	—		
文化財等の指定状況	—		
問い合わせ先	電話		

【フリーフォーマット】※表面に記載した内容に関連したことを自由に記入してください。

キーワード

<彼岸の造花>



(本宮市：平成 25 年 3 月撮影)